

風水害から
あなたと大切な人の命を守る

ガイドBOOK

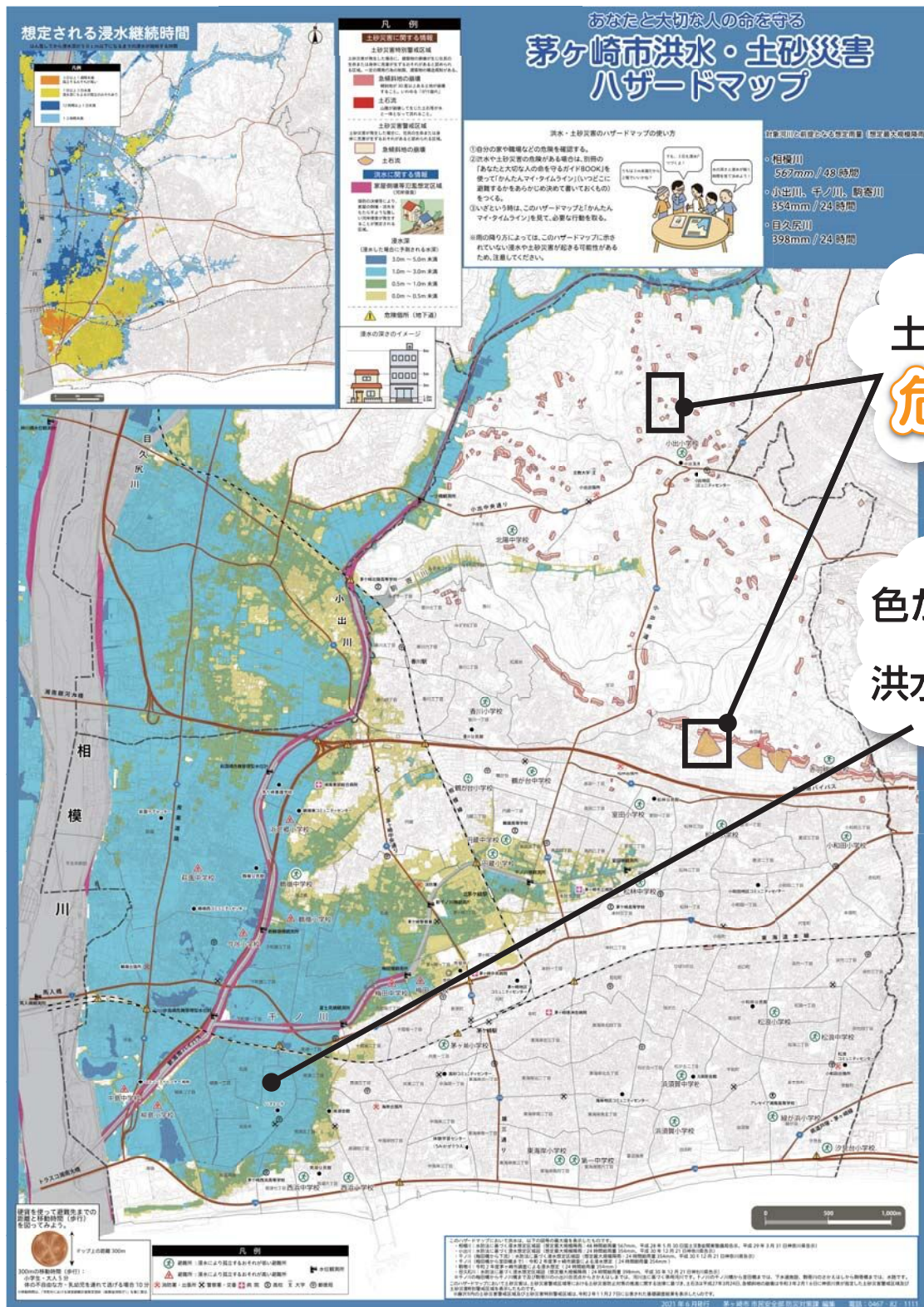
ハザードマップとこのガイドBOOKを大切に保管してください



あらかじめ避難行動を決めておく
『かんたんマイ・タイムライン』をつくり
風水害に備えましょう。

洪水・土砂災害

ハザードマップで自分の危険を知る



茅ヶ崎市洪水・土砂災害ハザードマップ

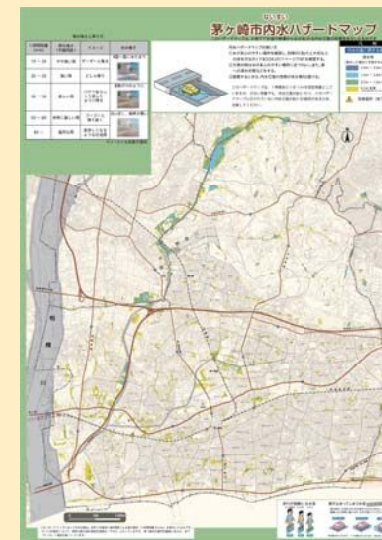
土砂災害の危険あり

色が塗られている洪水の危険あり



避難 を考えて「かんたんマイ・タイムライン」をつくる必要があります。

まずは、3・4ページ【「洪水」「土砂災害」から命を守る】を見てみよう。



茅ヶ崎市内水ハザードマップ

洪水や土砂災害の危険がなくても、「内水ハザードマップ」を見て、「突然の大雨」「暴風」の対策を考える必要があります。また、想定外に備えて避難についても考えてください。

▶対策は、「突然の大雨」から命を守る(11ページ)、「暴風」から命を守る(12ページ)を見てみよう。



目次

ハザードマップで自分の危険を知る	1-2
「洪水」から命を守る	3
「土砂災害」から命を守る	4
「逃げどき」を決める	5-6
「逃げさき」を決める	7-8
「持ちもの」を決める	9
「逃げかた」を考える	10
「突然の大雨」から命を守る	11
「暴風」から命を守る	12
「市からの情報」をとる	13
「たすけあう」	14
「かんたんマイ・タイムライン」	15

各ページに出てくるマーク



これだけは忘れないで

命を守るためにこれだけは忘れないでほしい一言情報



なるほど防災

もっと知っているのと役に立つなるほど情報

「洪水」から命を守る



出典：国土交通省ホームページ
(https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/suigai2017.pdf)

「土砂災害」から命を守る



出典：国土交通省ホームページ
(https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/suigai2016.pdf)

洪水も 土砂災害も
避難する!!
これだけは忘れないで

あなたと大切な人の命を守る 「かんたん マイ・タイムライン」をつくろう



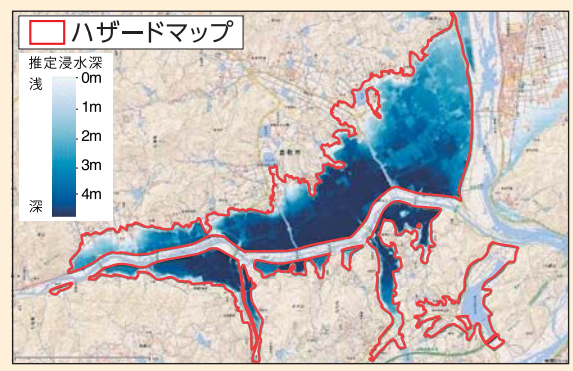
1 歩
「逃げどき」を決めて、記入する。

2 歩
「逃げさき」を決めて、記入する。

3 歩
「持ちもの」を決めて「逃げかた」を考える。

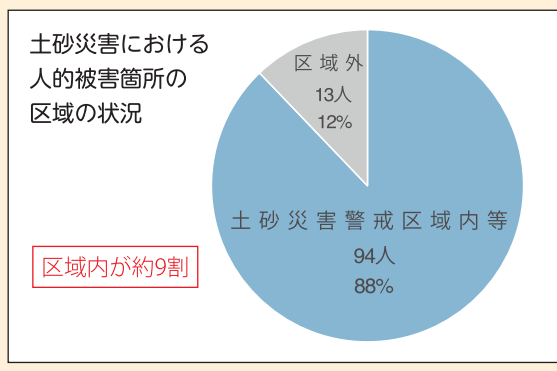
使い方
台風、大雨がきそうな時は「かんたん マイ・タイムライン」を確認して命を守る行動をする。

さあ、
1 歩
5ページで「逃げどき」を決めよう!



ハザードマップはあっているか?
これは、岡山県倉敷市のハザードマップ(赤枠)と平成30年7月豪雨に起こった洪水の浸水図(青塗りの部分)です。見てわかる通り、浸水範囲がほぼ重なり合っており、ハザードマップの前提となっている想定降雨量程度の降雨があった場合、浸水エリアはハザードマップの想定浸水域と近似する傾向を持っています。
ハザードマップは、洪水の危険を知るための非常に重要な資料です。

「平成30年7月豪雨の概要」(国土交通省)
(<https://www.mlit.go.jp/common/001323940.pdf>) を加工して作成



土砂災害警戒区域は危ないか?
これは、平成30年7月豪雨の際に土砂災害で死亡した人の被災位置を示したものです。土砂災害の人的被害の約9割は土砂災害警戒区域内等で被災していることがわかります。ハザードマップで土砂災害警戒区域やその周辺などにお住まいの方は、十分注意を払い「私の所は大丈夫」と過信せず早めに避難することが重要です。

「平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴」(国土交通省)
(https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/hazard_risk/dai01kai/dai01kai_siryoutu-1.pdf) を加工して作成

1 歩 「逃げどき」を決める

あなたが避難するタイミングは、警戒レベル3? 警戒レベル4?

市からの情報 

大雨への備え の呼びかけ

警戒レベル3 高齢者等避難

災害発生のおそれがある状況

警戒レベル4 避難指示

災害発生のおそれが高い状況

警戒レベル5 緊急安全確保

既に災害発生または発生直前の状況

準備

- ・ 気象情報や市からの情報をとる。
- ・ 「かんたん マイ・タイム ライン」で「逃げどき」「逃げさき」を再確認する。
- ・ 「持ちもの」を準備する。
- ・ 家の外の物が飛ばされないようにする。
- ・ 大事な物を安全な場所に移す。
- ・ 親戚、知人に避難先などを連絡する。不安なときには近所の人に相談する。

避難

- ・ 高齢者など避難に時間がかかる人は、警戒レベル3で避難する。
- ・ 危険がある人は、警戒レベル4では全員避難する。

わが家の行動 



市からの情報をとる!!

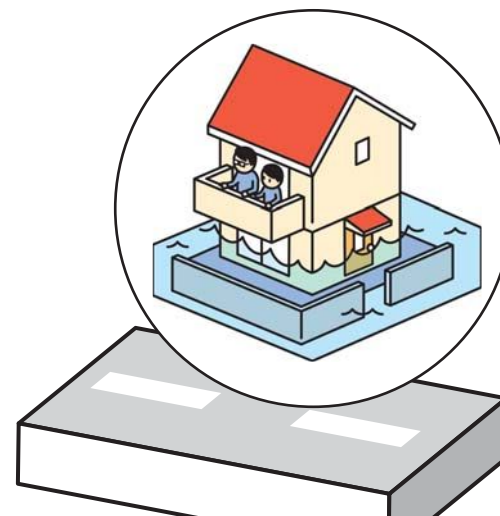
市からの情報のとりかたは13ページに



土砂災害の前には前兆現象がみられることがあります

- ・ 崖にひび割れができる。
- ・ 小石がパラパラと落ちてくる。
- ・ 崖から水がわき出る。
- ・ 地鳴り、山鳴りがする。
- ・ くさった土のおいがする。
- ・ 立ち木がさける音がする。

市から警戒レベルの情報が出されていないなくても、周りの人の声掛けがあった時や異常を感じた時などは、早めに避難してください。



万が一、逃げ遅れた時は安全確保

避難先に行くことが危険な状況になっているときは、家の中の高い所や崖から離れた部屋、近所の安全な所などで安全を確保する。

15ページにいつ逃げるかを書いたら

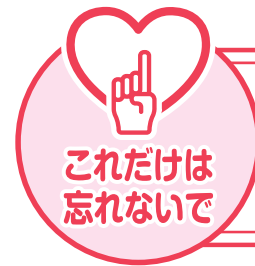
さあ、



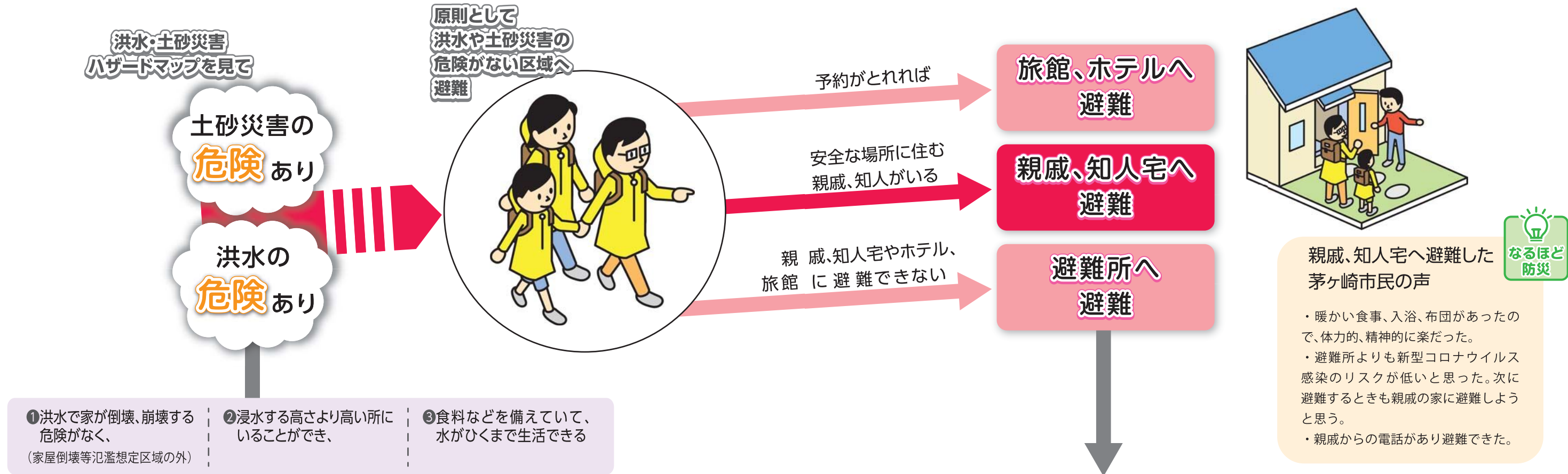
「逃げさき」を決めよう!

2 歩 「逃げさき」を決める

あなたに合った避難先は？ チャートを使って決めよう。



「逃げさき」を決められない時は、
家族や近所の人に相談する！！



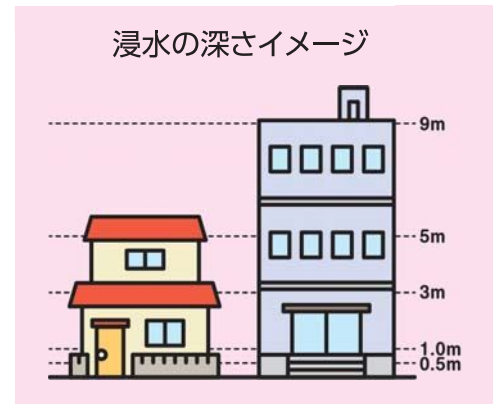
- ① 洪水で家が倒壊、崩壊する危険がなく、(家屋倒壊等氾濫想定区域の外)
- ② 浸水する高さより高い所にいることができ、
- ③ 食料などを備えていて、水がひくまで生活できる

上の3条件に全て当てはまる人は
屋内の高い場所での安全確保も可能
ただし、浸水したエリアで孤立する**危険**があります。
備蓄など最大1週間は生活できる準備が必要です。

**必要な
備蓄は、
12ページに**



出典：令和2年版防衛白書



令和元年東日本台風の際に避難した茅ヶ崎市民からも「洪水がおきたら、避難所の孤立化が不安。」との声があった。

洪水浸水想定区域外の避難所への避難が原則です。

小・中学校の各避難所では、避難してきた全ての方を収容できる限り受け入れますが、安全確保と混雑防止のため、令和元年9月に相模川の洪水から避難する避難所を住まいごとに示しています。これを参考にしながら、浸水想定区域内にお住まいの方は避難先を考えてください。
また、浸水想定区域内にある孤立するおそれが高い避難所については、逃げ遅れた時の最終手段として考えてください。

茅ヶ崎、茅ヶ崎1丁目、十間坂2、3丁目、下町屋1～3丁目	茅ヶ崎小学校
円蔵、円蔵2丁目、矢畑	鶴嶺高校
西久保、浜之郷	鶴が台小学校、鶴が台中学校
萩園	円蔵小学校、円蔵中学校
今宿、平大夫新田	鶴嶺中学校
香川4、5丁目	香川小学校
下寺尾	北陽中学校
南湖1、2、4、5、6、7丁目、柳島、柳島海岸	西浜小学校
柳島1丁目、松尾、浜見平	西浜中学校
中島、柳島2丁目	茅ヶ崎西浜高校

※円蔵小学校、円蔵中学校については、0.5m未満の浸水想定(校庭の一部1.0m未満)となっていますが、浸水継続時間は周辺の避難経路も含めて1時間未満で孤立するおそれが高いため避難所としています。

15ページに避難先を書いたら

さあ、

3 歩






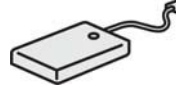
「持ちもの」を決めて「逃げかた」を考える。

3歩 「持ちもの」を決める

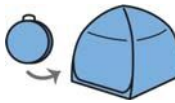
避難の時のわが家の持ち物に☑をつけよう!

あなたは何が必要? リストになれば、追加で書きこもう!




共通

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 水・食料(カップラーメンは不便) | <input type="checkbox"/> 持病の薬・お薬手帳 |
| <input type="checkbox"/> コップ・はし  | <input type="checkbox"/> 洗面用具・歯ブラシ |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着  | <input type="checkbox"/> タオル(何枚かあると便利) |
| <input type="checkbox"/> うわばき・スリッパ  | <input type="checkbox"/> ペン・ノート  |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> ポリ袋 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ(手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> ペット関連用品(ケージ、食料など)  |
| <input type="checkbox"/> 携帯バッテリー  | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |


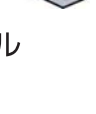
感染症

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 手指消毒アルコール |
| <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ |
| <input type="checkbox"/> 除菌シート |
| <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 小型テント  |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |






赤ちゃん・子ども

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> ミルク・哺乳瓶 |
| <input type="checkbox"/> 離乳食・容器 |
| <input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき |
| <input type="checkbox"/> 抱っこひも  |
| <input type="checkbox"/> 子ども用うわばき  |
| <input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本  |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |

女性

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 生理用品  |
| <input type="checkbox"/> 中の見えないゴミ袋  |
| <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |

高齢者

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 持病の薬・お薬手帳  |
| <input type="checkbox"/> 大人用おむつ  |
| <input type="checkbox"/> 補聴器  |
| <input type="checkbox"/> 入れ歯  |
| <input type="checkbox"/> 杖  |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> |

家族が常用している物など避難所では入手しにくい物や、他人から借りたり一緒に使いにくい物は忘れないようにしましょう。

3歩 「逃げかた」を考える

避難の時、何に気をつけますか?

Q 車で避難所に行っているの?



A 避難所へは、徒歩での避難が原則。
車での避難は原則禁止です。ただし、高齢者等を自家用車で送迎することは可能ですが、送迎した人の避難時間の確保なども考える必要があります。基本的に避難所には駐車場もないため、バスやタクシー等の公共交通機関が利用できるうちの早めの避難も考えておきましょう。

Q 暗いときに避難してもいいの?



A 避難の途中の事故も少なくないため、暗いときの避難は望ましくありません。明るいうち、大雨・暴風になる前に避難しましょう。

Q ペットと避難所に行っているの?



A 指定避難所(全ての小中学校)はペットを連れて避難することができます。ただし、ケージやペットフードなどを必ず持参してください。協定企業などの避難所は原則としてペットを連れての避難はできません。



歩行が困難になる水深



車が止まってしまう水深

冠水時に進入すると...



車が動かなくなります ドアが開かなくなります 車が浮いて流されます

避難経路については、内水ハザードマップも参考にして、内水氾濫の危険がある場所は避けましょう。



「突然の大雨」 から命を守る



洪水はしなくても、突然の大雨で道路などに水があふれることがあります。



これだけは
忘れないで

低い場所には近づかない!!

内水ハザードマップで水があふれやすい場所を確認しよう。

家の周りで水があふれそうな場合は浸水を防ぐ対策が必要です。また、周辺の状況や気象情報を確認しながら、2階などの屋内の高い所や近くの高い所へ一時的に避難することを考える必要があります。

対策例



側溝の落ち葉などを取り除き、
水の流れをよくする。



土のうなどで家の中の浸水を防ぐ。

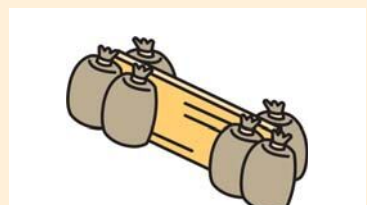


なるほど
防災

身近なもので浸水を防ぐ



水を入れた袋+段ボールなどの箱



長めの板+重しになる物



「暴風」 から命を守る



これだけは
忘れないで

暴風の時は外に出ない!!

家が安全な人は、屋内で安全を確保する

対策例



停電、断水、ガスの停止に備えて、
備蓄する。



雨戸などで窓を保護する。
できない時は、窓ガラス
飛散防止をする。



屋外の物が飛ばされないよう
屋内に片づけたり、
固定したりする。



なるほど
防災

食料や飲み水は無理なく備蓄
「ローリングストック」



普段から多めに
買って置き、

古いものから使って、

使った分を買い
足す。

食料や飲み水以外にも
ないと困る備蓄品

停電 ランタン、ライト、
携帯バッテリー、ラジオ

断水 簡易トイレ **大切!**

ガス停止 ガスコンロと
カセットボンベ

その他にも1週間程度生活できるよう、お薬など家族にとって必要な備蓄を
考えましょう。

「市からの情報」をとる



避難など命を守る行動のためには情報を確認することが非常に重要です。

防災行政用無線

市からの情報が放送されるが、大雨や窓を閉めている時は、聞こえづらいので他の方法も合わせて使おう。

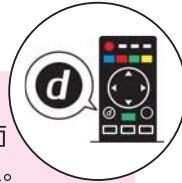
警戒レベルなど防災行政用無線で放送された情報がとれる

スマホが苦手な人に
オススメ

テレビ神奈川(tvk) データ放送

テレビで簡単に情報を見ることができる。

テレビで3チャンネル(テレビ神奈川)をつけてから、リモコンのDボタンを押し、データ放送画面が出たら、緑のボタンを押して「茅ヶ崎市」を選択。



防災行政用無線 電話応答サービス

自動音声で防災行政用無線の内容を聞くことができる。

0467-82-5555に電話する。

防災ラジオ

専用ラジオで防災行政用無線の内容を聞くことができる。

市が有償配布している防災ラジオを取得する。詳細は市の防災対策課に問合せ

ちがさきメール 配信サービス

携帯電話などに情報がメールで配信される。

「茅ヶ崎市メール配信サービス」でインターネット検索し、市のページにある利用案内に従って登録する。

使いかた

警戒レベルに加えてハザードマップや避難所の情報などもとれる

スマホに慣れている
人にオススメ

LINE Twitter

スマホに情報が通知される。LINEは避難所の混雑状況など関連情報が見られるメニューも便利。

LINEは市公式アカウントを友だち追加する。Twitterは市公式アカウントをフォローする。

防災・緊急情報

市公式ホームページ内のサイト。水位情報などいろいろな情報のリンク先なども便利。

「茅ヶ崎市防災・緊急情報サイト」でインターネット検索する。市公式ホームページからもアクセスできる。LINEからもアクセス可能。

Yahoo! 防災速報

スマホに情報が通知される。いろいろな防災情報を見ることができる。

「Yahoo!防災速報」アプリをダウンロードする。

「たすけあう」

災害時は、行政など公的機関だけでは手がまわらず、市民同士の助け合いによって多くの命を助けることができます。



「台風の時には、いえに行ってもいいかな？」の一言は言いづらい。
「台風の時には、うちにおいでよ。」の一言がうれしい。

災害時のたすけあいには準備が必要。日ごろのご近所同士のあいさつや声かけ、自治会などの地域の団体やイベントへの参加、普段からのつながりが、とても大切。一歩踏み出して、「たすけ上手」、「たすけられ上手」になろう。



自主防災組織や自治会の皆さん、防災リーダーや民生委員の方々など、普段から活動してくれている人だけでは、手が足りないのが災害時。自分や家族の安全が確保されたら、避難所での手伝い、近所で困っている人の手助け、市民全員でたすけあう街・茅ヶ崎って最高。

『風水害からあなたと大切な人の命を守るガイドBOOK』

2021年 7月 発行

茅ヶ崎市 市民安全部 防災対策課 編集
電話：0467-82-1111

ハザードマップであなたの居場所の危険チェック

洪水



浸水の深さ

- 3~5m
- 1~3m
- 0.5~1m
- 0.5m未満

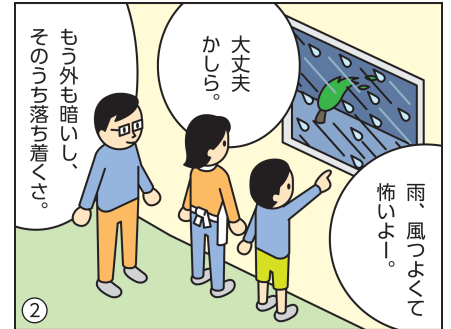
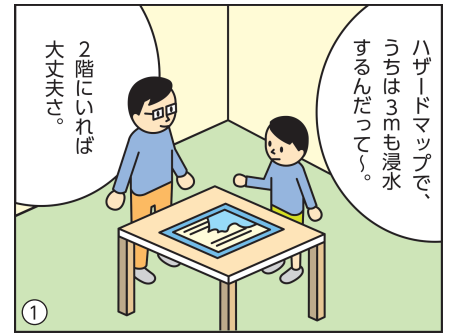
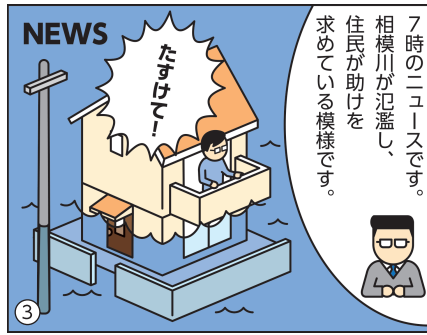
浸水が続く時間

- 3日~1週間
- 1日~3日
- 12時間~1日
- 12時間未満

土砂災害



- 土砂災害(特別)警戒区域内
- 上記以外(近くになげがある等)



洪水・土砂災害から「命を守る」ため

つくって つかって

「かんたんマイ・タイムライン」

いつ

テレビ等で大雨の情報が
出始めたら...

「逃げどき」に

5~6ページ

警戒レベル3
高齢者等避難

警戒レベル4
避難指示

既に災害発生または
発生直前の状況

警戒レベル5
緊急安全確保

準備

避難

① 市からの情報をとる 13ページ

② 「持ちもの」を準備する 9ページ

③ まわりの人に相談する

「逃げさき」に

7~8ページ

親戚・知人宅
() さん宅

に避難する

歩いて避難所
() 学校

逃げかたは

10ページ

相談先

名前

電話

()

万が一、逃げ遅れた時は安全確保

みんなは
逃げ遅れないように、
しっかりと準備してね！

